



最新の賃貸経営お役立ち情報

**USAGI通信**



No.650

2014年3月19日

★「共同住宅の空き家約460万戸について分析—平成20年住宅・土地統計調査からの推計」（総務省）

総務省統計局はこのほど、5年前発表された『平成20年住宅・土地統計調査』をもとに、共同住宅における空き家の状態をまとめた「共同住宅の空き家約460万戸について分析—平成20年住宅・土地統計調査からの推計」を公表した。

2008年時点の「空き家の現状」で、今日の状況とは少し違うが、共同住宅つまり、賃貸住宅に的を絞って、国として空き家の状況をまとめているデータが少ないだけに、賃貸住宅の空き家の状況を知るのに役立つ資料。

それによると、空き家の数は調査のたびに増加し、1988年に394万戸だったのが、2008年には757万戸と、この20年間で2倍近くになっており、空き家率で見ると、1998年に1割を超え11.5%、その後5年ごとに1ポイントずつ上昇しているのが分かる。

賃貸住宅等の空き家431万戸について、所有別に見ると民営の空き家が342万戸（79%）、民営以外の公営、公社、給与住宅等の空き家が75万戸（17%）となっており、民営の空き家が民営以外に比べて、4.5倍以上の大きな割合を占めている。

建築時期別に見ると民営の空き家は、1981～2000年に建てられた住宅が115万戸と比較的多く、この20年間に建てられた住宅の空き家数が、民営の空き家全体の34%となっている。

なお、同省では2013年調査の『住宅・土地統計調査』結果について、この7月に速報結果を公表する予定で、結果の公表後、空き家については、今回と同様の推計を行うとしている。

⇒ <http://www.stat.go.jp/info/today/072.htm>

※（一社）全国賃貸不動産管理業協会メールマガジン 2014.3.14の記事を引用しています。

USAGI通信はメールでの送信も可能です！！

学生ハウジングホームページ  →  の入力フォームにて  
ご相談内容のボックスに「USAGI 通信希望」とご入力の上、送信ください。